

# 令和2年度酒蔵ツーリズム調査（概要）

## 調査目的

「酒蔵ツーリズム」の現状と現在抱えている課題を明らかにする

## 実施主体

日本酒蔵ツーリズム推進協議会（事務局：公益社団法人日本観光振興協会）

- ・協力：日本酒造組合中央会
- ・調査委託：株式会社インテージリサーチ

## 調査期間

令和2年11月16日（月）～令和2年12月25日（金）18：00

## 調査手法

インターネット調査（酒蔵・酒造関係のみ一部FAX回答）

## 調査対象

日本酒蔵ツーリズム推進協議会 45団体

日本酒造組合中央会 1,691者・団体

公益社団法人日本観光振興協会 369自治体・団体

※日本酒蔵ツーリズム推進協議会と重複している団体は、日本酒造組合中央会・日本観光振興協会会員扱いとする。

## 回収率

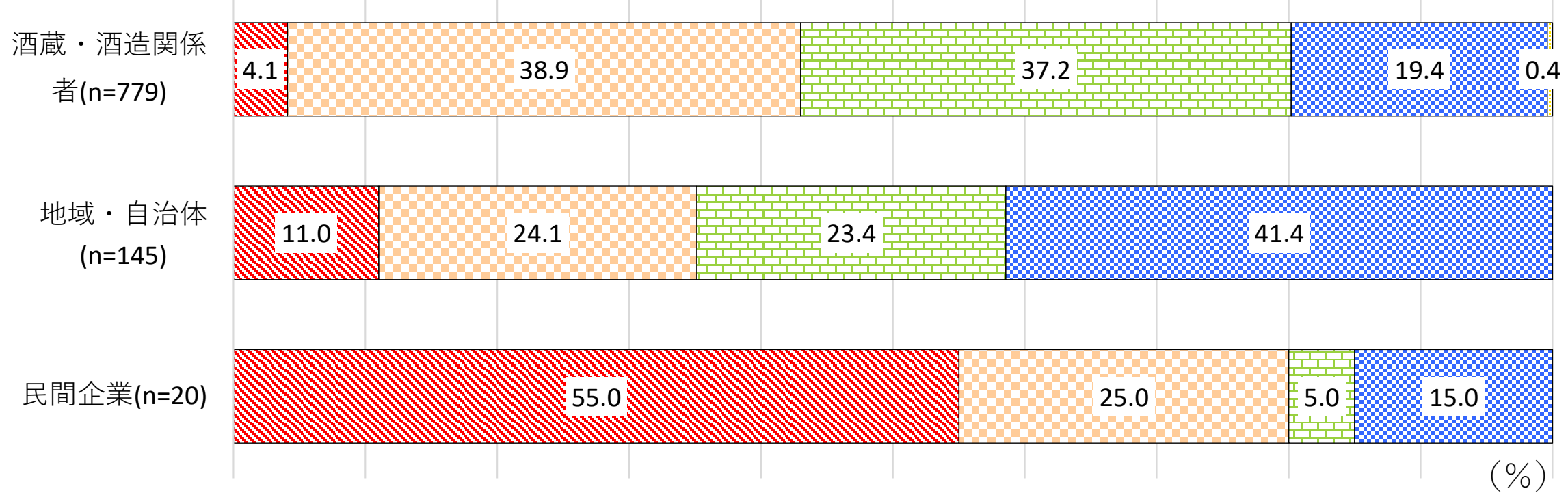
酒蔵・酒造関係者 45.8%（1,698団体/779回答）

地方自治体・観光協会等 38.8%（373自治体/145回答）

民間企業 58.8%（33企業 / 20回答）

# ①「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」認知度

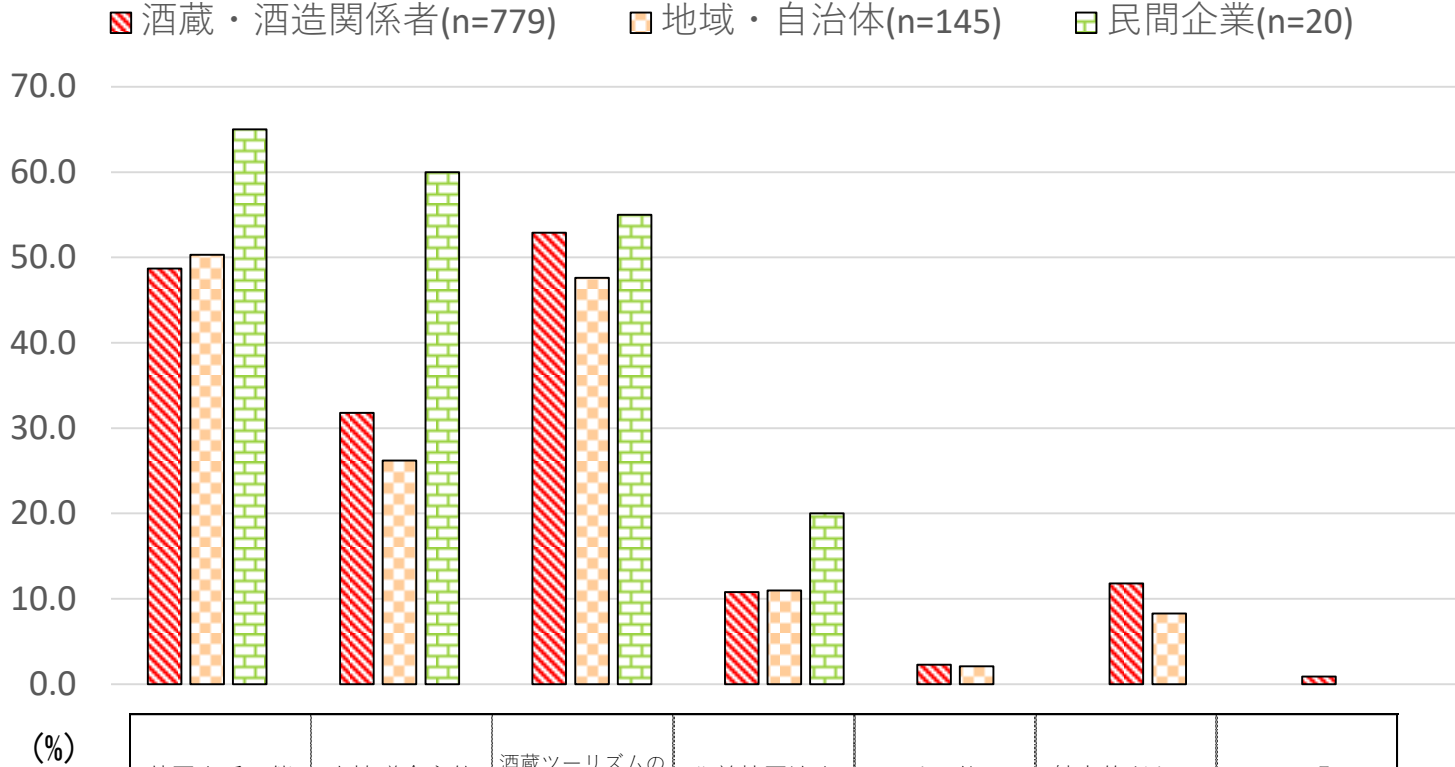
✓ 酒蔵・酒造関係は、「聞いたことはあるが入会していない」「何をしている団体か知らない」が76.1%と最も多い。  
 ✓ 地域・自治体関係は、「聞いたことがない」が41.4%と最も多く認知度が低いことがわかる。



- 聞いたことがあり、既に入会している
- 聞いたことがあり、何をしている団体か知っているが入会していない
- 聞いたことはあるが、何をしている団体か知らない
- 聞いたことはない
- 不明

# ②魅力的な事業について (複数回答)

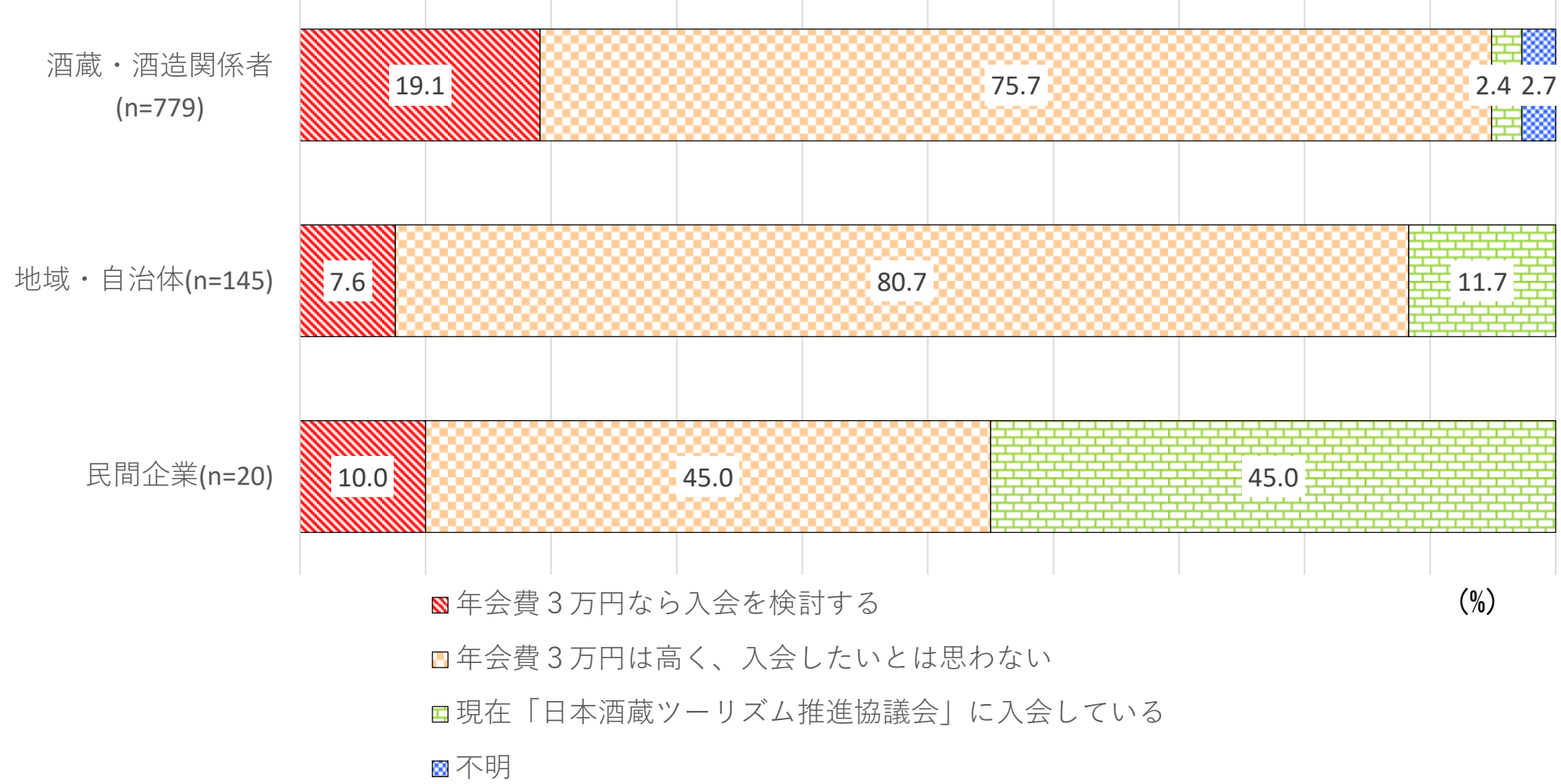
- ✓ 酒蔵・酒造関係は、「酒蔵ツーリズムの 프로모ーションサポート」が魅力的であると回答 (52.9%)。
- ✓ 地域・自治体・民間企業ともに「外国人受入態勢標準化ツールの提供」が魅力的である (地域：48.7%/民間企業：65%) との回答が最も多い。
- ✓ 一方で「魅力的だと思いう事業はない」と回答した酒蔵・酒造関係は11.8%、地域・自治体は8.3%であった。



n=	Activity							
	外国人受入態勢標準化ツールの提供 (酒蔵ガイド)	当協議会主催の酒蔵ツーリズム関係セミナー等への無料参加	酒蔵ツーリズムの 프로모ーションサポート (サイト・SNS情報掲載、旅行会社・メディアへの優先紹介など)	公益社団法人日本観光振興協会の会員サービスの一部提供	その他	魅力的だと思いう事業はない	不明	
酒蔵・酒造関係者	779	48.7	31.8	52.9	10.8	2.3	11.8	0.9
地域・自治体	145	50.3	26.2	47.6	11.0	2.1	8.3	0.0
民間企業	20	65.0	60.0	55.0	20.0	0.0	0.0	0.0

# ③「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」入会意向

✓ どの区分でも「年会費3万円は高く、入会したいとは思わない」が最も多い。  
 ✓ 特に地域・自治体は80.7%と最も高いことがわかる。



# ④「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に求めること（抜粋）

## 酒蔵・酒造関係者

- 酒蔵見学者に対しての見学マナー教育
- 地域が一丸となり、町ぐるみでの活性化事業に参画してほしい
- 酒蔵のみでなく地域を巻き込んだ観光事業創造のサポート
- 地域団体での成功事例と詳細プログラム等の開示、地域が一丸となって取り組んでいる事例の紹介
- 日本酒がメインのように感じるため、焼酎蔵など多方の連携をとっていただきたい
- 他の食品以外の製造業とのツーリズムを推進して欲しい
- 観光効果だけではない双方にとって生涯役立つテーマがあればよい
- 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」そのもののブランド強化
- 「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」「酒蔵ツーリズム」の認知度が低い
- 酒蔵ツーリズムを地元で立ち上げるサポートが欲しい
- 小蔵でもできるのなら、まず売上に繋がる成功例を造り、紹介して頂きたい
- 積極的に事業を進めたい酒蔵に対する補助金やコンサル事業を案内して欲しい
- 各酒蔵の情報は酒蔵に任せて、酒蔵ツーリズムの楽しさ・重要性を1人でも多くの方々に知らせて欲しい

# ④「日本酒蔵ツーリズム推進協議会」に求めること（抜粋）

## 地方自治体・観光協会等

- 定期的な情報発信や、モデルケースとしての酒蔵ツーリズムの事業提案
- 研修やツーリズム造成に対する補助事業
- 酒蔵のない地域でもできる事業モデルがあると面白い
- 地元の酒蔵 2 ～ 3 蔵を回ると共に、地元の文化財、風景等を絡めたツアー事業（日本各地でモデル事業を実施）
- 地方でタクシーを使った酒蔵めぐりツアーをやっている個人経営の旅行会社への協力をしていただく方向を考えて頂きたい
- 日本内での取り組みや情報の共有のための、事務局レベルの会議等があれば、事務局のモチベーション、連携アップにつながる
- JETROとの連携による酒の国際商談会サポート

## 民間企業

- 酒蔵や観光協会、旅行会社などの酒蔵ツーリズムに関わる団体のマッチングの場を作ってほしい
- コンテンツの磨き上げに関する研修会、日本酒市場の動向に関する研修会、日本酒と食事のペアリング知識を深める研修会などを頻繁に開催してほしい
- 酒造と地域資源を組み合わせたコンテンツの造成
- コロナ禍でも実施できる「ツーリズム」の見本なる事業展開を期待します